

# 学院ニュース

## 特集 新聞を読む子は正答率高い 全国学力テスト 全教科で相関

最終面

### 今月の行事

- 9月 3日(月) サクセス校 通常授業開始  
 4日(火) 早稲田学院各校 通常授業開始  
 8日(土) 中3生 体育祭開催の場合は 休校予定  
 (雨天時授業あり)  
 15日(土) 中3生 合格バンザイ講座開始 入試終了まで継続  
 (9:00-16:00)  
 17日(月) 敬老の日 サクセス校授業有り  
 24日(月) 秋分の日 全校 休校

中旬 ~ 中3生 三者面談

### 10月の予定

初旬から中旬 中学生 中間テスト対策 教室開放

中旬 中2生 三者面談

中旬 小中学生、学力テスト予定  
 (10/17~10/20の間に行います)

### ◆◇ 中3生合格バンザイ講座の開講 ◇◆

各中学校での体育祭終了後、平成30年度の高校入試合格バンザイ講座(5教科の総合指導講座)を9月15日以降、毎週土曜日、午前9時より午後4時まで開講致します。県立高校入試の前期試験問題は大変に難しく、木更津高校のボーダーはおおよそ350点前後と推測されており、高い応用力の育成が必要となっております。君津高校も学力上位者は前期で合格しております。本年度も例年通り早めに気を引き締めてスタートをし、夏期講習会で築いた基礎学力に応用力を上乗せして来春での前期合格を目指しましょう。

## さあ9月だ♪ 今月の目標は

夏休みが終わってよいよ飛躍の季節秋です。秋からは学習内容が次第に難しくなってきます。基本事項の確認を怠りがちになるのも、この時期です。先を見るのも大切ですが、時には自分の足元をよく見つめたり、振り返ったりして、あやふやのまま進んでしまうことの無いように心掛けてください。東大理科一類に現役合格をしたM先輩（清川中→木更津高校）は、『どんなに難しそうに見える問題も、基礎の積み上げで理解できる内容になっていますから、それを忘れないことです』とっておりました。

### 小学生 基本学習を大切に！

自分で勉強している割に成績が伸びないときは、基本事項をきちんと理解しているのかを再確認してください。基礎がしっかりしていないと絶対に伸びません。

また、家庭学習用に参考書や問題集を購入する場合は、解答の解説が親切で、記載してある内容が豊富なものが一番お勧めできます。解説が親切で丁寧でないと、読んでもよく理解できず、頭に入りません。そしてよい学習問題集などを1冊購入し、しっかりとやり遂げることが大切です。

### 中 1 早く夏休み気分から抜けよう！

中学に入っての最初の夏休みが終わりました。いろいろと忙しかった場合もあるでしょうが、いつまでも夏休み気分ではいけません。9月に入ったら体育祭があり、それが終わるとよいよ勉強に集中しなければなりませんよ！ 特に厳しくなってくるのが英語と数学です。1学期は比較的楽な内容でしたが、これからのんびりしていると、すぐに分からなくなり、落ちこぼれになってしまいます。英語は単語力が低下することから始まり、いつの間にか取り返しのつかない状況になります。じわりじわりと学力の低下が進みますので、気がついたら大変なことになってしまい、学力を元に戻すのが大変なのです。絶対に甘く見ないことです。

### 中 2 2学期は入試のポイント！

今学期は成績が上がるか下がるかのポイントとなる時期、のんきな気持ちは捨ててください。入試のかなりの分野が2年生の2学期の学習分野から出されたり、学習した基礎分野の応用が、3年次の学習に必要になってきたりします。例えば数学の一次関数は3年次の二次関数につながっており、英語の不定詞は分詞につながっています。理科の科学分野の化学式の基礎は、3年次の水溶液中のイオン等に関連があります。上位高校に進学したければ、そろそろ本気で学習を始めてください。3年生になって2年生の内容を再学習するよりは、今が一番大切なのです。

### 中 3 夏期講習の総復習を！

がんばった夏期講習、きちんと復習を家庭でやりましたか？ 学習効果を高めるには、必ず復習することです。人間は忘れるのが商売と言われるほど、よく忘れてしまいます。それが長所でもあるのですが、勉強は忘れたではすみませんので、繰り返しの学習をして忘れないようにすることが大切なのです。もしまだ十分に復習学習をしていない生徒は、今からでも始めてください。簡単な問題から難度の高い問題まで、覚えこむことが一番成績を上げるポイントなのです。がんばる生徒は良い結果を得ることができますよ！

### 高 1 2学期は一番学力が伸びる！

2学期をどのように過ごしてゆくかを良く考えてください。高校の部活は中学時代よりも大変に中身が濃く厳しいものですが、大学進学も厳しいものなのです。それなりのレベルの大学へ進学したければ、覚悟を決めて部活と勉強に取り組むことです。簡単に千葉大くらいに行きたいと思っても、相手のあることです。沢山の受験者の中で自分が出来なければ、不合格とされてしまいます。そして現役合格にこだわってください。

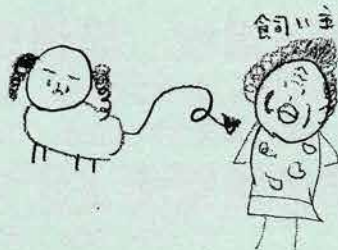
### 高 2 理系か文系か！

秋からは自分のやりたいことは何かを考えて、進路に合った受験の基礎準備に入るべきです。自分の性格、特技、夢などを考え、どんな仕事であれば自分が楽しみながら勉強し、有意義な大学生活と将来像を描くことが出来るかを、今考えておくべきです。自分の大好きな分野の仕事であれば、どんな苦労でも乗り越えてゆける可能性が高いからです。好きな遊びが仕事になれば、こんな楽しいことはありません。

### 高 3 計画を再度見直してみ！

暑い暑いと言っている内に秋が来ます。早めに計画の修正が必要であればいい、秋からの応用育成への準備をして下さい。また講師として後輩の指導に戻ってきている先輩のアドバイスも大変に重要です。ぜひこの時期の学習方法、計画の立て方、精神面の取り組み方等について相談することをお勧めします。

## イラストコーナー



# 特集 新聞を読む子は正答率高い

## 全国学力テスト 全教科で相関

2018年度全国学力テストの児童生徒を対象としたアンケートから、新聞を読む頻度とテストとの正答率との関係を文部科学省が分析したところ、**新聞を読む頻度の高い方が頻度の低い子供に比べ、全教科で平均正答率が高かった。**

「新聞を読んでいますか」との質問に「ほぼ毎日」「週に1～3回程度」「月に1～3回程度」「ほとんど、または全く読まない」の選択肢を用意し、それぞれを選んだ子供の平均正答率を比較した。

小中学校ともに算数と数学のB問題で差が大きく、「ほぼ毎日」の小6が62.3%、中3が56.5%、これに対し「週に1～3回程度」の小6は58.4%、中3は54.8%、「月に1～3回程度」の小6は53.2%、中3は50.0%、「ほとんど、または全く読まない」の小6は48.7%、中3は45.8%と、読む頻度が下がると正答率も低くなり、他教科も同様だった。

一方新聞を読む習慣を前年度と比べると、「ほぼ毎日」は小学校で7.5%、中学校5.0%で、いずれも0.5%減。「ほとんど、または全く読まない」は小学校で1.3%増え60.7%、中学校では1.0%増の70.1%だった。

**新聞は、文章読解、社会、科学等入試に関する知識の宝庫**です。有効に活用してください。

新聞を読む児童生徒の割合と、テストの平均正答率

小学校					
新聞を読む頻度	国語A	国語B	算数A	算数B	理科
ほぼ毎日読んでいる	78.8%	62.6%	72.8%	62.3%	67.1%
週に1～3回程度読んでいる	76.3	60.3	69.2	58.4	64.9
月に1～3回程度読んでいる	72.4	56.3	64.9	53.2	61.5
ほとんど、または、全く読まない	68.4	52.4	61.2	48.7	58.4

中学校					
新聞を読む頻度	国語A	国語B	数学A	数学B	理科
ほぼ毎日読んでいる	80.7%	67.6%	74.1%	56.5%	72.6%
週に1～3回程度読んでいる	80.3	66.8	72.8	54.8	71.9
月に1～3回程度読んでいる	77.9	63.3	68.8	50.0	68.6
ほとんど、または、全く読まない	75.6	60.5	65.1	45.8	65.1

### 進学予備校 早稲田学院 『中学・高校受験部門』

清見台校 〒292-0045 木更津市清見台 1-23-21 TEL 0438-25-6363

請西校 〒292-0807 木更津市請西南 3-25-2 TEL 0438-37-5511

### 大学受験講座『サクセス』

〒292-0804 木更津市文京 6-11-17 TEL 0438-25-7878